

デジタル・ニッポン2024—新たな価値を創造するデータ戦略への視座—



- データの蓄積・利活用が国家の命運を左右する現在、データ戦略はデジタル政策の底流であり、政策議論の指針。
- これまでに整備してきたインフラを活用し、プロセス指向のデータ戦略・新しいガバナンスによる信頼できるデータ利活用を推進。新たな価値の創造と社会課題の解決を強力に促す。

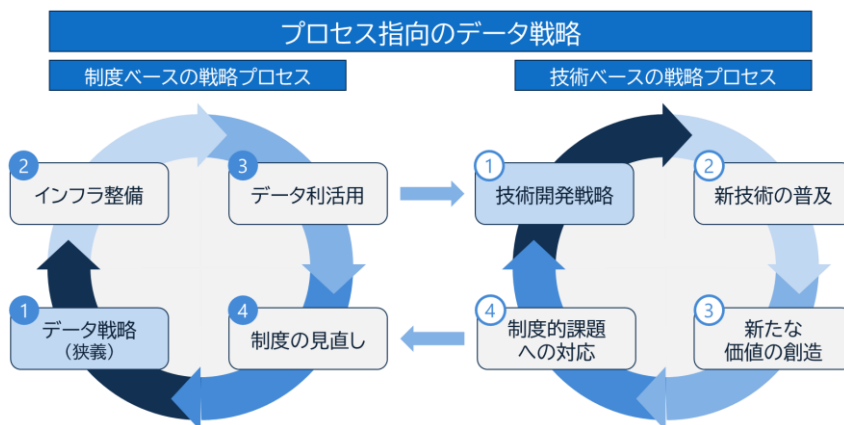
これまでの反省とプロセス指向のデータ戦略への見直し

(第1～3章)

コロナ禍や令和6年度能登半島地震等の危機の度にデータ利活用の不備・遅れが明らかに。固定的なタスクの集合としての戦略では、技術・サービスの急速な変化に対応できず、他の戦略との連携も不十分



- データの重要性を再認識し、データ戦略の理念・原則を個々の施策に徹底
- 技術やサービスの急速な進展に柔軟に対応し陳腐化を防止
- データ戦略と人材育成・セキュリティ等の戦略との連携
- 戦略の自律的なアップデート、新たな技術や社会変化を内在化したプロセス指向のデータ戦略へ



データ利活用に向けたプロジェクトチーム提言集

web3ホワイトペーパー2024

～新たなテクノロジーが社会基盤となる時代へ～

web3のマス・アダプション（大衆受容）に向け、web3エコシステムを我が国の発展に取り込み、Society5.0の基盤技術となりうるブロックチェーンテクノロジーの発展を強力に推進するための課題を整理。web3関連事業への投資・参入を促進する環境整備に直ちに取り組むべき。また、コンテンツ産業の海外展開や安心・安全な利用環境の確保、web3プロジェクトを進める自治体への支援、暗号資産の国内投資促進に向けた議論を

防災DXの推進に関する提言

～防災デジタルプラットフォームの構築に向けて～

能登半島地震の対応も検証し防災DXの課題を整理。「防災デジタルプラットフォーム」と「データ連携基盤」の構築により災害時の情報連携。マイナンバーカード活用、個人情報の取扱い、通信・電力等のインフラ強靱化、効果的な訓練や民間人材・技術の活用、GPS情報活用等の検討が求められる。将来予測技術の開発や我が国防災技術・産業の海外展開も

インフラ整備とデータ利活用の進展と課題 (第4・5章)

- **マイナンバー情報連携**のメリットをすべての関係者に。マイナンバーカードのスマホ搭載をはじめ、マイナンバーカードの更なる利便性向上の早期実現と幅広い世代での活用へ支援
- **ベース・レジストリ**、政府相互運用性フレームワークの整備
- 自治体・民間サービスとの連携の推進
- **令和6年度能登半島地震からの教訓** - 避難所・被災者の把握におけるデータ活用の可能性と正確性等の課題
- VC/DIDの利活用。**AIやweb3等の新技術がデータ利活用を牽引**。画期的なアイデアが実現する環境の整備と新技術に対応するための戦略の柔軟な見直し
- Need to knowからNeed to shareへ

戦略的な制度の見直しに向けて (第7章)

- 国・地方DXの推進：**自治体システム標準化**の推進、**国・地方のデジタル基盤の共通化**、デジタルマーケットプレイスによる調達簡素、費用分担等の検討、**地方ネットワークの抜本的見直し**、自治体システム整備への支援
- **データ戦略の司令塔としてのデジタル庁の強化**
 - サービスの整備・運用体制確保と内部マネジメント強化、**デジタル法制局**によるシステム・制度・業務の一体的見直しの強化等
 - **デジタル化で目指す社会**を示すための広報体制の強化
 - 中長期 - **企画能力向上とGov Tech Japan構想** (仮称)
- デジタル公共財の整備、データ戦略とデジタル戦略の連携強化
- **DFFTの具体化と国際的なデータ連携基盤の構築**

サイバーセキュリティ対策の更なる強化に向けた提言

～「常時有事」の脅威に立ち向かうサイバーレジリエンスの確立に向けて

サイバー空間は常時有事。サイバー安全保障分野の法整備の加速化による**サイバー攻撃への対処能力向上**、セキュリティ・クリアランス制度の実効性確保に向けた国際連携、偽情報対処能力の強化、小学校段階からの「セキュリティ教育」の充実に向けた支援、セキュリティ産業振興パッケージの策定、耐量子計算機暗号対応の計画策定のほか、サイバーセキュリティ戦略本部への全閣僚参加や NISC後継組織の体制充実により、安全保障・経済社会秩序の強靱化を確立すべき

デジタル人材育成に関する提言

企業はデジタル人材の不足、個人はスキルを活用できる場がないというミスマッチが課題。自治体DX推進センター（仮称）によるDX推進体制の強化、企業における**デジタル人材のキャリア形成**への支援、教育カリキュラム・専門教員の充実、デジタル人材のスキル評価の一元的な管理等、**Purpose Based Learning**へ変革を

データ利活用を支える個人情報保護制度に向けて (第6章)

- 個人情報とは本人と社会に恩恵をもたらす**価値の源泉**。豊かな社会の実現に向け、**個人情報保護制度は徹底的に検証されるべき**
- 制度見直しは、**マルチステークホルダー**による信頼ある議論を経るべき。「三年ごと見直し」では十分な検証ができない。規制強化一辺倒ではなく、まずは運用状況の分析が必要
- 累次の改正による**個人データの定義・管理の複雑化**や個人データの第三者提供に係る「**同意疲れ**」への対応
- **リスクベースでの漏えい等報告**への見直し等、効果的で合理的な、透明性の高い制度運用へ
- 仮名加工された**データの統計利用促進**や生成AI等の**新技術への理解**がなければ成長を阻害
- 健康・医療、こども、防災等**分野に応じた規律**も検討されるべき
- 団体訴訟制度は、経済界からの強い反対の声を踏まえ慎重な検討を。課徴金は、EU等の背景・運用状況をよく踏まえて検討を
- 国際的な視野の必要性と**グローバルCBPR**の促進
- 保護と利活用の両立の実現のため、個人情報保護委員会の機能・体制を含め**抜本的な制度見直し**を強く求める

信頼性の確保 (第8章)

- データ連携には**信頼性**が必要。プロセスに対する信頼性・透明性を備え、ユーザーが親しみを持てるサービスに
- サービスの継続的改善は、組織への信頼がポイント。マルチステークホルダーによるアジャイル・ガバナンスやミッション・ビジョン・バリュー (MVV) の浸透を

AIホワイトペーパー2024 ステージIIにおける新戦略

～世界一AIフレンドリーな国へ～

世界で最もAIに理解があり、研究開発・実装しやすい環境の実現へ。リスク最小化と利益最大化。**広島AIプロセス**をベースに、更なる国際的なリーダーシップの発揮。研究開発力強化・利活用促進・AI基盤の高度化を官民連携の下で推進し**競争力強化**を図る。ガイドライン等、事業者等の自発的な**安全性確保**と**必要最小限の法的枠組み**。偽・誤情報の総合的な対策、AIセーフティ・インスティテュートの機能・体制強化

「デジ育」始まる！

～こども・子育てDXの行動計画～

国の未来であるこどもたちのため、DXによる**安心・便利・充実のこども・子育て政策**を全国に行き届かせる。**自治体間・官民のデータ連携**による手続簡素化や保育所等のICT導入等の加速。様々なレジストリの整備やプッシュ型子育て支援の実現、データ連携による虐待・いじめの早期発見・未然防止、安全対策の確実な推進が必要。こども家庭庁の増員と自治体のこども・子育てDX司令塔設置支援等、DX推進体制の強化が求められる